

平成 29 年度の主な事業報告

社会福祉事業

I 特別養護老人ホームカリヨンの郷

平成 29 年度の入所状況は、入院日数が延べ 296 日、退所者数が 13 名と、空床の期間は昨年度に引き続いて低い水準で推移した。主な要因としては、医師と看護師の連携により、入所者の身体状況が重症化する前に対応できていることが考えられる。また、年間の利用率は 98.9%と昨年度の 97.8%より増加した。入院時等の空き部屋を緊急時の空床型ショートステイに活用できたことも、高い稼働率の維持につながっている。

しかし、平成 30 年 1 月中旬から施設内で複数の利用者がインフルエンザに感染し、1 月下旬に一度は終息傾向となったが、3 月中旬から下旬まで再度入所者、職員にインフルエンザが蔓延した。その期間のショートステイの受け入れを一時中断するなど対応に追われたことから、次年度に向け感染症対策の見直しが課題となった。

入所者の処遇について、個別外出・外食を増やした結果、入居者・ケアワーカーともにリフレッシュでき入所者の方から高い満足度を得ることができた。30 年度も入居者の方の希望を伺いながら「自己実現」ができるよう外出サービス等も交えた介護サービス提供に力を入れていきたい。

1. 入所者定員及び現在在籍者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

定員 90 名
現在員 90 名（男性 13 名 女性 77 名）

2. 職員数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

職種	正規職員	準職員	派遣職員	パート職員	計（名）
管理者（施設長）	1	—	—	—	1
介護職	28	3	0	15	46
看護職	2	1	0	3	6
機能訓練指導員	1	1	0	0	2
生活相談員	3	0	0	0	3
介護支援専門員	1	0	0	0	1
管理栄養士	1	0	0	0	1
事務員※デイと兼務	1	2	0	0	3
その他職員	0	0	0	8	8
計	38	7	0	26	71

※上記とは別にシルバー人材センターから 9 名受け入れている。

3. 入所者年齢別状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

年齢	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	0	2	1	5	3	2	0	0	13
女性	0	0	7	17	18	20	12	3	77
計	0	2	8	22	21	22	12	3	90

※最高年齢 男性 93 歳 ※最少年齢 男性 73 歳 ※平均年齢 男性 83 歳
女性 108 歳 女性 75 歳 女性 88 歳
総平均 87 歳

4. 入所期間（平成 30 年 3 月 31 日現在）

入所期間	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満	6年～7年未満	7年～8年未満	8年～9年未満	9年以上	合計
男性	4	3	2	1	1	0	0	2	0	0	13
女性	9	16	13	11	6	4	5	2	3	8	77
計	13	19	15	12	7	4	5	4	3	8	90

※最短入所期間 1ヶ月 ※最長入所期間 18年4ヶ月 ※平均入所期間 3年11ヶ月

5. 月別入所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	93	91	92	90	92	91	91	91	90	90	91	90	1,092
延利用人数	2,604	2,712	2,685	2,783	2,776	2,671	2,773	2,677	2,790	2,753	2,485	2,674	32,383
(空床利用)	(39)	(28)	(6)	(0)	(8)	(12)	(0)	(0)	(0)	(7)	(7)	(3)	(110)
一日の平均利用人数	88.1	88.3	89.7	89.8	89.4	89.4	89.4	89.2	90	88.8	89	86.3	89
延入院日数	61	29	1	6	0	17	9	17	0	23	21	112	296
延外泊日数	1	2	1	1	2	1	1	1	0	3	6	3	22
利用率	97.8%	98.2%	99.6%	99.7%	99.7%	99.3%	99.3%	99.1%	100%	98.9%	98.8%	95.9%	98.9%

※入退所状況により、実利用人数は定員を超える場合がある。

6. 男女別要介護度（平成30年3月31日現在）

	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
男	0	0	4	5	4	13
女	2	6	21	24	24	77
合計	2	6	25	29	28	90
割合	2%	7%	28%	32%	31%	100%

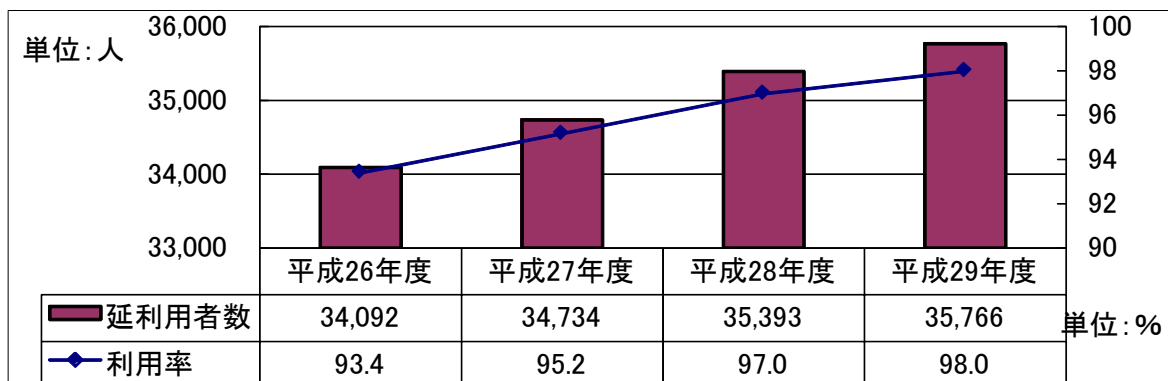
※平均介護度 3.83（参考：平成28年度末 3.84、平成27年度末 3.75）

7. 市町村別入所者および入退所者状況

市町村名		平成30年3月31日現在		合計	平成29年度入退所状況	
		男性	女性		入所者	退所者
海部郡	蟹江町	9	51	60	10	11
あま市		3	13	16	3	
愛西市			3	3	1	1
みよし市						1
弥富市			2	2		
稲沢市						
津島市			2	2	1	
尼崎市			1	1		
名古屋市	中川区		2	2		
	中村区		1	1		
	中区		1	1		
	天白区		1	1		
	東区	1		1		
合計		13	77	90	15	13

※蟹江町の入所者割合 66.6%

8. 年度別特養・ショート合計の利用状況



9. 年間行事

日付	行事名	内容
5月17日	花祭り	仏教会による花祭り・演奏会
6月11日	ワークス祭り	ワークス祭りへの参加
7月8日	高砂部屋慰問	高砂部屋力士による慰問
7月23日	夕涼み会	流しそうめん・かき氷を食べて夕涼み
8月20日	カリヨンの郷夏祭り	須成鼓笛演奏、屋台、盆踊り、抽選会など
9月10日	敬老会	介護職員による寸劇（桃太郎）
10月20日	秋の遠足	佐屋川創郷公園
10月27日	秋の遠足	佐屋川創郷公園
11月13日	アニマルセラピー	小動物との触れ合い（佐屋高校）
12月24日	家族会大掃除	家族会主催による居室大掃除
12月24日	クリスマス会	職員による昭和歌謡ショウ
12月27日	もちつき大会	1Fダイホールにてお餅つき
1月1日	おとそ・初詣イベント	カリヨン神社にて初詣
1月21日	お抹茶イベント	お抹茶点て
2月4日	節分イベント	豆まき
2月25日	居酒屋イベント	居酒屋開店
3月4日	ひな祭りイベント	記念撮影

10. 外出・外食

日付	行事名	場所	内容
4月4日	大須観音	名古屋市	散策
4月7日	富吉児童公園・アキスパー	蟹江町	お花見・買い物
4月14日	木曾三川公園	桑名市	チューリップ祭り
4月16日	ポルト	蟹江町	喫茶外出
4月19日	ブロンコビリー	蟹江町	外食
4月23日	はま寿司	蟹江町	外食
5月12日	お千代保稲荷	海津市	散策
5月16日	支留比亜珈琲（弥富店）	弥富市	喫茶外出
5月16日	キャブガーデンカリヨンの杜・加里部亭	蟹江町	保育園児と交流・外食
5月23日	天王川公園	津島市	散策
5月23日	ブロンコビリー	蟹江町	外食
5月25日	大阪市（野田駅周辺）	大阪市	思い出の地散策
6月6日	イオン茶屋店	名古屋市	外食・散策
6月9日	ヨシヅヤ蟹江店	蟹江町	喫茶外出
6月13日	尾張温泉・鳩	蟹江町	足湯・喫茶外出
6月21日	カリヨン近郊の喫茶店	蟹江町	喫茶外出
7月5日	サガミ富吉店・多度大社	蟹江町・桑名市	外食・ホテル観賞
7月9日	名古屋ドーム	名古屋市	野球観戦
7月12日	なまずや（うなぎ）	蟹江町	外食
7月15日	蟹江図書館・星乃珈琲	蟹江町	散策・喫茶外出
7月25日	うま屋蟹江店	蟹江町	外食
7月28日	支留比亜珈琲	蟹江町	喫茶外出
7月28日	希望の丘	蟹江町	蟹江祭り
8月1日	ヨシヅヤ蟹江店	蟹江町	喫茶外出
8月1日	ぼると	蟹江町	喫茶外出
8月4日	ヨシヅヤ蟹江店	蟹江町	外食
8月5日	長島スパーランド	桑名市	花火観賞
8月15日	三六	蟹江町	外食
8月26日	長島スパーランド	桑名市	花火観賞

日付	行事名	場所	内容
9月6日	ヨシヅヤ蟹江店	蟹江町	喫茶外出
9月19日	元海・ヨシヅヤ蟹江店	蟹江町	外食・散策
9月29日	加里部亭	蟹江町	外食
10月3日	三六	蟹江町	外食
10月5日	ヨシヅヤ蟹江店	蟹江町	喫茶外出
10月10日	アズパーク	中川区	買い物
11月3日	正力(焼肉)	蟹江町	外食
11月5日	加里部亭	蟹江町	外食
11月15日	スシロー	蟹江町	外食
11月22日	サガミ千音寺店	中川区	外食
11月23日	元海	蟹江町	外食
11月24日	蟹江町内墓地	蟹江町	お墓参り
11月25日	欧香	蟹江町	喫茶外出

II 短期入所生活介護

平成29年度は、平成30年1月から3月にかけて施設内でインフルエンザが蔓延したことによりショートステイの受け入れ停止を2回行ったが、年間を通しての利用率は89.6%となった。

また、平成28年12月にショートステイ枠を20床から10床に減らしたが、特養の空床枠を活用することで、追加利用希望や緊急時などのニーズにも対応できた。

今後も新千秋ショートステイと連携を取りながら、柔軟に利用者ニーズに応じていきたい。

1. 定員 10名

2. 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	36	34	35	34	45	36	36	35	32	32	34	24	413
延利用人数	269	266	271	270	309	288	274	277	300	273	264	212	3,273
一日の平均利用人数	8.9	8.5	9	8.7	9.9	9.6	8.8	9.2	9.6	8.8	9.4	6.8	8.9
利用率	89.6%	85.8%	90%	87%	99.6%	96%	88.3%	92.3%	96.7%	88%	94.2%	68.3%	89.6%

※年間利用率 平成26年度 73%、平成27年度 83.5%、平成28年度 90.1%

3. 月間要介護度別利用状況

介護度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
要支援1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.1%
要支援2	0	0	0	0	9	0	0	2	0	11	0	0	22	0.6%
要介護1	27	56	74	45	58	41	46	41	37	31	22	5	483	14.7%
要介護2	62	64	59	50	80	83	99	81	79	53	45	21	776	23.7%
要介護3	104	72	65	76	71	71	47	69	85	62	92	73	887	27.1%
要介護4	30	43	35	53	48	56	51	50	52	58	48	83	607	18.6%
要介護5	44	31	38	46	43	37	31	34	47	58	57	30	496	15.2%
合計	269	266	271	270	309	288	274	277	300	273	264	212	3,273	100%

III 特別養護老人ホームカリヨンの郷「新千秋」

平成29年度は入居者数28名でスタートした。年度中の入居は10名、退居は9名で、平成30年3月31日現在、29名満床となった。また、夜間帯職員が一定数に達したことで、平成29年7月より夜勤職員配置加算Ⅱの取得手続きを行った。職員人数の確保に関して、介護職員は人事異動により3名、看護職員は1名中途採用を行ったものの、看護職員1名・介護職員1名・介護助手1名が退職した。その他、平成29年度末現在、介護職1名が産休中である。

平成30年3月に、1名認知症実践者リーダー研修を修了したことで認知症専門ケア加算の取得要件

を満たしたため、平成30年4月から同加算を取得予定である。

1. 入居者定員（平成30年3月31日現在）

定員 29名（3ユニット）
 現在員 29名（男性：5名 女性：24名）

2. 職員数（平成30年3月31日）

職種	正規職員	準職員	派遣職員	パート職員	計（名）
管理者（本体特養と兼務）	1	0	0	0	1
生活相談員	1	0	0	0	1
介護職	10	2	0	15	27
看護職	1	0	0	1	2
介護支援専門員	1	0	0	0	1
機能訓練指導員（本体特養と兼務）	1	0	0	0	1
管理栄養士（本体特養と兼務）	1	0	0	0	1
その他職員	0	0	0	2	2
計	16	2	0	18	36

※上記とは別に宿直員としてシルバー人材センターから2名受け入れている。

3. 入居者年齢別状況（平成30年3月31日現在）

年齢	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	1	1	0	1	1	1	0	0	5
女性	0	2	4	8	6	4	0	0	24
計	1	3	4	8	7	5	0	0	29

※最高年齢 男性 92歳10ヶ月 ※最少年齢 男性 68歳0ヶ月 ※平均年齢 男性 81歳
 女性 93歳2ヶ月 女性 73歳4ヶ月 女性 83歳
 総平均 82歳

4. 入居期間（平成30年3月31日現在）

入所期間	3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6～9ヶ月未満	9～12ヶ月未満	1年～1年半未満	1年半～2年未満	2年以上	合計
男性	1	0	0	0	0	0	4	5
女性	5	1	0	2	2	0	15	24
計	5	1	0	2	2	0	19	29

5. 月別入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	28	29	29	28	29	29	29	28	28	28	28	29	342
延利用人数	840	899	856	868	886	870	878	758	817	830	777	896	10,175
一日の平均利用人数	28.0	29.0	28.5	28.0	28.6	29.0	28.3	25.3	26.4	26.8	27.8	28.9	27.9
延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用率	96.6%	100%	98.4%	96.6%	98.6%	100%	97.7%	87.1%	90.9%	92.3%	95.7%	99.7%	96.1%

6. 男女別要介護度（平成30年3月31日現在）

	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
男	0	1	3	0	1	5
女	1	2	7	8	6	24
合計	1	3	10	8	7	29
割合	5.6%	13.2%	31.9%	25.4%	24.0%	100%

※平均介護度 3.60

7. 年間行事

日付	行 事	内 容
平成 29 年 4 月	花見	木曾三川公園／木曾岬外出
7 月	花火大会（グループホームと合同）	新千秋駐車場にて花火を実施
8 月	夏祭り	本部特養にて行われた夏祭りに参加
9 月	敬老会	お寿司の提供と敬老のお祝い・ビンゴ大会
10 月	運動会	地域交流室にて実施
11 月	バーベキュー	新千秋駐車場にてバーベキュー
12 月	クリスマス会	鍋パーティとプレゼント贈呈
	餅つき（新千秋事業所合同）	餅つきと試食
平成 30 年 1 月	初詣	神明社（蟹江町大海用）に参拝
2 月	節分	職員・入居者が鬼の仮装をして豆投げ
3 月	雛祭り	散らし寿司を提供し、雛祭りの歌を歌う

8. 外出・外食

日付	場 所	住 所	内 容
平成 29 年 4 月 2 日	木曾岬と喫茶	弥富市	花見と喫茶外出
4 月 5 日	木曾岬と喫茶	弥富市	花見と喫茶外出
4 月 8 日	木曾岬と喫茶	弥富市	花見と喫茶外出
4 月 19 日	三ッ叉池公園	弥富市	花見
5 月 2 日	天王川公園	津島市	花見
5 月 30 日	矢合観音	稲沢市	お参り
6 月 6 日	お千代保稲荷	岐阜県海津市	お参りと昼食外出
6 月 9 日	お千代保稲荷	岐阜県海津市	お参りと昼食外出
6 月 19 日	大塚性海寺歴史公園	稲沢市	花見と食事外出
7 月 8 日	森川花はす田	愛西市	花見
7 月 12 日	木曾三川公園	岐阜県海津市	花見
7 月 15 日	森川花はす田	愛西市	花見
8 月 3 日	昼食外出と明治なるほどファクトリー	稲沢市	工場見学
8 月 9 日	昼食外出とカリヨンの杜	蟹江町	保育園と昼食外出
9 月 15 日	円光寺（萩寺）	稲沢市	花見
9 月 30 日	昼食外出と木曾三川公園	岐阜県海津市	花見と食事外出
10 月 2 日	昼食外出と木曾三川公園	岐阜県海津市	花見と食事外出
10 月 3 日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
10 月 5 日	佐屋川総合公園	蟹江町	散歩
10 月 8 日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
10 月 10 日	佐屋川総合公園	蟹江町	散歩
10 月 27 日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
11 月 4 日	モスバーガー	蟹江町	喫茶外出
11 月 12 日	サガミ・入居者自宅周辺	蟹江町	散歩・食事外出
11 月 21 日	木曾三川公園	岐阜県海津市	花見と食事外出
12 月 3 日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
12 月 4 日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
12 月 10 日	美和文化会館	美和町	イルミネーション鑑賞
12 月 10 日	支留比亜珈琲	弥富市	喫茶外出
平成 30 年 1 月 1 日	神明社	蟹江町	初詣
1 月 3 日	神明社	蟹江町	初詣
1 月 6 日	イオン南陽店	名古屋市港区	買い物外出
1 月 7 日	神明社	蟹江町	初詣
1 月 10 日	支留比亜珈琲	弥富市	喫茶外出
1 月 13 日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
1 月 17 日	支留比亜珈琲	弥富市	喫茶外出

1月21日	不二家	津島市	喫茶外出
1月23日	支留比亜珈琲	弥富市	喫茶外出
2月3日	アオキスーパー	蟹江町	買い物外出
2月4日	イオン南陽店	名古屋市港区	買い物外出
2月9日	不二家	津島市	喫茶外出
3月7日	こころ 津島店	津島市	食事外出

IV 短期入所生活介護（新千秋）

平成29年度は人員の確保ができたことで、本格的にショートステイの運営を行うことができた。年間目標として平均利用率80%としていたが、平成29年度の利用率は77.2%に留まった。平成30年度も平均利用率80%を目標に掲げて運営していく。

1. 定員 9名

2. 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	9	18	13	16	19	18	18	16	21	25	20	22	215
延利用人数	102	195	234	211	239	218	255	222	171	199	230	259	2,535
一日の平均利用人数	3.4	6.3	7.8	6.8	7.7	7.3	8.2	7.4	5.5	6.4	8.2	8.4	6.9
利用率	37.8%	69.9%	86.7%	75.6%	85.7%	80.7%	91.4%	82.2%	61.3%	71.3%	91.3%	92.8%	77.2%

3. 月間要介護度別利用状況

介護度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
要支援1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	22	2.4%
要支援2	3	5	8	19	8	4	2	2	0	3	17	31	102	11.9%
要介護1	8	12	8	9	30	30	40	41	31	54	74	74	411	11.9%
要介護2	22	46	101	65	64	37	49	73	55	8	39	73	632	11.9%
要介護3	56	95	90	108	113	119	124	102	48	61	43	48	1,007	26.2%
要介護4	8	13	0	3	6	18	37	1	34	60	38	6	224	21.4%
要介護5	3	24	27	7	18	10	3	3	3	3	9	27	137	14.3%
合計	102	195	234	211	239	218	255	222	171	199	230	259	2,535	100%

4. 事業所別利用人数

	事業所名	件数	延人数
1	はるすケアプランサービス蟹江	13	89
2	カリヨンの郷居宅介護支援事業所	27	429
3	蟹江町西地域包括支援センター	11	33
4	居宅介護支援事業所 まつかげ	12	50
5	株式会社 福祉の里	13	199
6	介護サポートセンター新千秋	86	1,107
7	セーヌ蟹江 居宅介護支援事業所	21	111
8	蟹江町東地域包括支援センター	8	110
9	しょうぶ会居宅介護支援事業所	2	13
10	蟹江町社会福祉協議会	2	27
11	介護支援センター やわらぎ	2	35
12	居宅介護支援事業所 かにえ	2	31
13	アイアイサービス 中村公園ケアセンター	6	136
14	愛知たいようの杜地域包括支援センター	1	2
15	ケアプラン西之森	3	56
16	長寿の里 十四山居宅介護支援事業所	4	81
17	居宅介護支援事業所 まごのて	2	26
	合計	215	2,535

V 軽費老人ホームケアハウスカリヨンの郷

開所してから18年半が経過し、入居者の約半数が85歳以上となっているため、ほとんどの入居者の方が介護保険サービスを利用している。介護保険サービスを利用することで自立した生活を送られているため、適切なサービスを利用しケアハウスで快適に過ごしていただくためにもケアマネとの連携が重要になる。

平成29年7月に1名退居されたが翌月には入居1名あり、平成30年3月31日現在満室である。しかし、1人部屋の問い合わせや入所申し込みはあるが、2人部屋ではなく、また、現在の2人部屋待機者についても、夫婦どちらか一方が病気を患って2人揃っての入所が難しいかもしれないなど、申し込んだ当時と状況が変わっている方もいる。そして、入所申し込みをされる方の年齢は85以上の方が多く、待機者の高齢化が進んでいる。最近では近隣に有料老人ホームなどが増えてきているため、包括支援センターなどにケアハウスのPRを必要に応じて行っていくことが重要だと考える。

平成29年度は、前年度よりも外出レクやおやつレク等のレクリエーションを多く実施した。入居者と共にリフレッシュすることや物作りをする機会を増やしたことで、行きたい場所・やってみようことなどの発言が増えてきた。今後も入居者の意見を取り入れながら外出やレクリエーションを楽しんでいきたい。

1. 入居者定員及び在籍者数（平成30年3月31日現在）

定員 15名
在籍員 14名（男性6名 女性8名）

2. 職員数（平成30年3月31日現在）

職種	正規職員	準職員	パート職員	計（名）
施設長※特養と兼務	1	—	—	1
介護職	—	1	—	1
生活相談員	1	—	—	1
環境員	—	—	1	1
計	2	1	1	4

3. 年間利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数	14	14	14	14	13	14	14	14	14	14	14	14	167
延利用人数	420	434	420	414	410	420	434	420	434	434	392	434	5,066
一日の平均利用人数	14	14	14	13.3	13.2	14	14	14	14	14	14	14	13.9
延入院日数	—	—	—	—	—	—	—	21	31	40	28	—	120
延外泊日数	18	18	21	20	18	21	21	18	23	18	18	20	234
利用率(%)	93.3	93.3	93.3	89.2	88	93.3	93.3	93.3	93.3	93.3	93.3	93.3	92.5
入所	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
退所	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1

4. 利用者年齢構成（平成30年3月31日現在）

区分	性別			備考
	男	女	計	
65歳未満	0	0	0	最高年齢 96歳
65歳～69歳	1	0	1	
70歳～74歳	0	0	0	
75歳～79歳	0	0	0	最低年齢 69歳
80歳～84歳	4	1	5	
85歳～89歳	1	2	3	平均年齢 86歳
90歳～94歳	0	4	4	
95歳～99歳	0	1	1	
計	6	8	14	

5. 在籍期間 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別 區別	在 籍 者			備 考
	男	女	計	
1 年未満	1	0	1	平均在籍期間 3 年 3 ヶ月
1 年～2 年未満	2	2	4	
2 年～3 年未満	1	1	2	
3 年～4 年未満	0	0	0	
4 年～5 年未満	1	2	3	
5 年～6 年未満	0	1	1	
6 年～7 年未満	0	0	0	
7 年～8 年未満	0	2	2	
8 年～9 年未満	1	0	1	
9 年～10 年未満	0	0	0	
10 年以上	0	0	0	
計	6	8	14	

6. 入・退居状況

入居年月日	性別	年齢	入 居 理 由
平成 29 年 8 月 25 日	男	69	独居生活が困難になった為

退居年月日	性別	年齢	退 居 理 由	在籍期間
平成 29 年 7 月 12 日	女	88	腰痛が悪化しケアハウスでの生活が困難になった為	8 年 2 ヶ月

7. 入居者ADL状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別	年齢	ADL 状況
女	92	自立
男	85	歩行器歩行
女	82	自立
女	85	自立
男	84	自立 (声掛け必要)
女	91	歩行器歩行
女	90	歩行器歩行
男	69	歩行器歩行
女	96	シルバーカー歩行
男	83	自立
女	88	自立
男	84	自立
女	93	歩行器歩行 (外出時シルバーカー使用)
男	82	杖歩行

※入居者の年齢が 80 歳以上となり身体・認知機能の低下が見られる。しかし、身体機能の低下については、状況に適した福祉用具を使用することにより、ケアハウスで自立した生活を送ることができている。

8. 要介護状態・在宅サービス利用状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在) ※入居者 14 名中 12 名利用

性別	年齢	要介護度	通所介護・通所リハ 利用状況	訪問介護・訪問リハ・ 訪問看護利用状況	福祉用具
女	92	支 2		週 2 回	介護ベッド
男	85	支 2	週 3 回		介護ベッド
女	85	支 2	週 2 回		手すり
男	84	介 1	週 4 回	週 2 回	
女	91	支 2	週 2 回	週 2 回	介護ベッド・歩行器・手すり
女	90	支 2	週 2 回		歩行器・手すり
男	69	介 1		週 6 回	歩行器
女	96	支 1		週 1 回	手すり・シルバーカー
男	83	支 2		週 1 回	介護ベッド・手すり

女	88	自立		月 1 回	
女	93	支 2	週 2 回		歩行器
男	82	自立	週 2 回		

※介護認定を受け、介護サービスを利用しながら生活している方が半数を超えている。
自立認定の方も実費でサービスを利用し、それぞれ自立した生活を送られている。

9. 通院状況（往診含む）（平成 30 年 3 月 31 日現在）

後藤医院	内科	1	山本医院	内科	1
かにえ病院	内科	3	つつみ整形	整形外科	1
	整形外科	2	西口整形	整形外科	1
かとうクリニック	内科	1	たけうちクリニック	耳鼻科	1
やまだクリニック	内科	4	服部整形外科	整形外科	1
上田医院	内科	1	増森クリニック	内科	3
村上医院	内科	1	名鉄病院	内科	1
尾関眼科	眼科	9	よこい歯科	歯科	2
よしはる皮膚科	皮膚科	2	中村第一赤十字病院	内科	1
ゆう歯科	歯科	2	おくしま歯科	歯科	1
成山ひだまりクリニック	内科	2	さらクリニック	精神科	1
うめだ整形	整形外科	1	海南病院	内科	1
掖済会病院	整形外科	1			

※一人の方が 2、3 の病院又は科にかかっているのが現状であり、定期受診が多い。

10. 疾患分類（平成 30 年 3 月 31 日現在）

病 名	男	女	計	病 名	男	女	計
高血圧	3	7	10	糖尿病	2	0	2
白内障	2	4	6	高脂血症	2	0	2
緑内障	2	5	7	慢性胃炎	0	2	2
骨粗鬆症	1	2	3	慢性硬膜下血腫	1	0	1
結節性多発動脈炎	0	1	1	狭窄症	2	1	3
心臓病	0	2	2	変形性膝関節症	0	2	2
腸閉塞	1	1	2	肺結核	0	2	2
逆流性食道炎	1	0	1	乳癌	0	1	1
脂質異常症	0	1	1	大動脈解離	1	0	1
大動脈弁閉鎖不全	1	0	1	心気症	1	0	1
睡眠時無呼吸症候群	1	0	1	うつ病	1	0	1

※ほとんどの方が高血圧症であり、自身にて血圧を測定・記録・通院して服薬にて調節されている。
半数の方が白内障や緑内障を患っている。骨粗鬆症や狭窄症、変形性膝関節症を患っている入居者様もおり転倒や骨折などに注意が必要である。

11. 入院状況

性別	年齢	病 名	入院期間
女	88	橈骨遠位骨折	72 日間
女	90	左変形性関節症	67 日間

12. 年金等収入受給状況

年金等区分	人 数	年金等区分	人 数
国 民 年 金	9	厚 生 年 金	5
遺 族 年 金	6	農 林 年 金	0
厚生年金基金	0	共 済 年 金	2
個 人 年 金	0		

13. 利用料負担状況（平成30年3月31日現在）

利用料月額料金は、1人当たりの1ヶ月の利用料「生活費＋サービスの提供に要する費用＋管理費」に、使用量に応じた電気料金と定額の水道料金が加算される。（11月から3月まで冬季加算額1,930円が加算される。）

階層	管理費月額（円）	生活費（円）	サービスの提供に要する費用（円）	合計金額（円）	人数
1	3,781	43,700	10,000	57,481	4
2	3,781	43,700	13,000	60,481	1
5	3,781	43,700	22,000	69,481	3
7	3,781	43,700	30,000	77,481	2
9	3,781	43,700	40,000	87,481	1
10	3,781	43,700	45,000	92,481	1
12	3,781	43,700	57,000	104,481	1
18	3,781	43,700	89,300	136,781	1

※ 水道料金は2ヶ月に1度の徴収。

※ 階層は1階層から順番に18階層までであり、前年度の年間収入額によって決定する。（毎年、7月に階層の見直しを行っている。）

14. 行事及び施設内活動実施状況について

実施月	内 容	場 所
4月	外食「川八」	木曾岬町
	フラワーアレンジ	4階食堂
	昼食会	1階食堂
	外出「お花見」	木曾岬市
	外出「津島天王川公園」	津島市
5月	外食「桂喜」	蟹江町
	フラワーアレンジ	4階食堂
	特養合同昼食会	1階食堂
6月	外食「吉田麺」	名古屋市
	イオンモール茶屋	名古屋市
	フラワーアレンジ	4階食堂
	おやつレク「キッシュ」	4階食堂
	昼食会	4階食堂
7月	昼食会	1階食堂
	フラワーアレンジ	4階食堂
8月	カリヨンの郷夏祭り前日祭	カリヨンの郷館内
	カリヨンの郷夏祭り	カリヨンの郷館内
	フラワーアレンジ	4階食堂
	おやつレク「カリカリポテチ」	4階食堂
	外食「木曾路」	津島市
9月	避難訓練	カリヨンの郷館内
	フラワーアレンジ	4階食堂
	健康診断	カリヨンの郷館内
	昼食会	4階食堂
	おやつレク「フルーツポンチ」	4階食堂
10月	フラワーアレンジ	4階食堂
	昼食会	4階食堂
	インフルエンザ予防接種	3階医務室
	おやつレク「リッツパーティー」	4階食堂
	外食「和楽亭」	弥富市
11月	蟹江町文化祭「展示の部」作品出展・見学	蟹江町体育館
	昼食会	4階食堂

11月	おやつレク「スイートポテト」	4階食堂
	外食「甲羅」	愛西市
	お千代保稲荷神社	海津市
	なばなの里	桑名市
	フラワーアレンジ	4階食堂
12月	デイサービスクリスマス会	1階デイホール
	餅つき	1階デイホール
1月	昼食会	4階食堂
	お食事会	4階食堂
	フラワーアレンジ	4階食堂
	おやつレク「あん巻」	4階食堂
2月	おやつレク「鬼の顔ホットケーキ」	4階食堂
	フラワーアレンジ	4階食堂
	昼食会	1階食堂
	お食事会	4階食堂
	防災訓練	カリヨンの郷館内
3月	フラワーアレンジ	4階食堂
	昼食会	4階食堂
	おやつレク「明石焼き」	4階食堂
	お食事会	4階食堂

※上記の他にネットスーパー（月2回）、理美容（月1回）を実施。

VI 老人デイサービスセンター「カリヨンの郷」

平成29年度の延べ利用者数は8,992人、月平均で749人であった。営業日数は310日で一日あたりに換算すると、利用定員45名（介護保険事業35名、総合事業10名）に対して平均利用者数は29.0人、利用率は64.5%という結果であった。平成28年度の利用状況（延べ利用者数8,673人、平均利用率79.9%）と比較すると延べ利用者数は増加したが、平成29年4月から蟹江町の総合事業を開始した（介護保険事業とは別枠で当初は定員5名、平成30年2月からは定員10名）ことで、利用率は低い数字となった。

近隣他事業所の増加やサービス内容の多様化に伴って、新規利用者の獲得は厳しい競争となっている。しかし、目先の利益にとらわれず、利用者の自立支援・地域貢献のため、常に「利用者の利益」を基本とし、日常生活活動の維持・向上や日常生活上の支援に多職種協働で愚直に取り組んでいきたい。平成28年4月から個別機能訓練加算Ⅰ・運動器機能向上加算の算定を開始したが、地域のケアマネに浸透し、多くの利用者が算定している。また、ご家族からもメニューなどにご意見を頂いている。平成30年4月から蟹江町において総合事業が本格的に開始された。機能訓練の役割は年々重要となっており、他事業所との差別化や競争優位性を高めるためにもプログラムを随時見直し、改善したい。そして、利用者、さらには地域のニーズに応えられるサービスを提供できるよう、職員と常に意見を交わしながら前向きに取り組んでいきたい。

1. 利用定員 45名（介護保険事業35名、総合事業10名）

2. 職員数（平成30年3月31日現在）

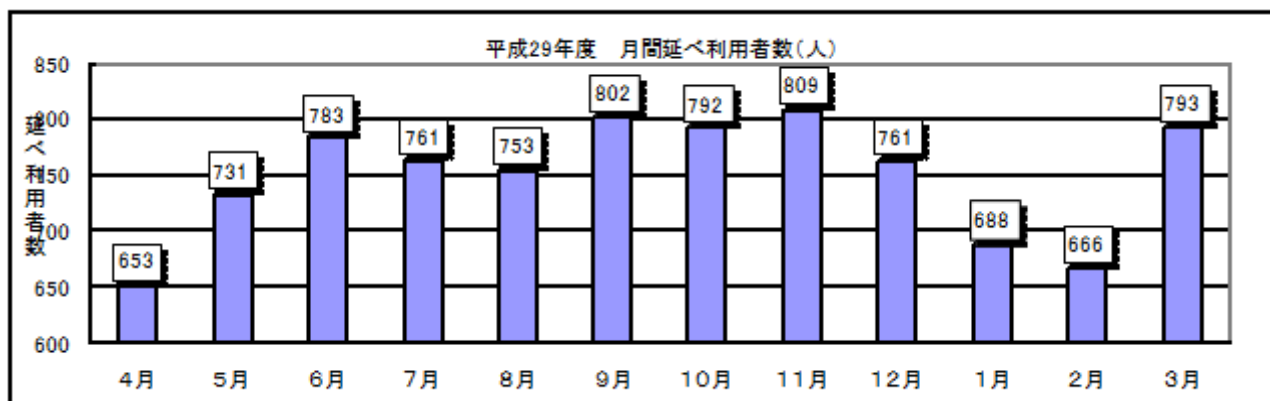
職種	正規職員	準職員	パート職員	計（名）
管理者※特養と兼務	1	—	—	1
介護職	3	3	14	20
看護職	1	1	2	4
生活相談員	1	0	0	1
機能訓練指導員	1	0	0	1
事務員※特養と兼務	1	0	0	1
計	8	4	16	28

3. 年間利用状況

(表1) 月間利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者人員	73	74	75	76	75	80	80	82	80	74	75	77	921
延べ利用者人員	653	731	783	761	753	802	792	809	761	688	666	793	8,992
平均利用人員	26.1	27.1	30.1	29.3	27.9	30.8	30.5	31.1	29.3	28.7	27.8	29.4	29.0
営業日数(日)	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
利用率(%)	58.0	60.2	66.9	65.0	62.0	68.5	67.7	69.1	65.0	63.7	61.7	65.3	64.5

(表2) 月間延べ利用者数(グラフ)



4. 介護度別利用状況

(表3) 年度別、利用延べ人数の構成比率

介護度/年度	27年度	→	28年度	→	29年度
要支援1・2	17.9%	→	18.1%	→	14.8%
要介護1	20.1%	→	19.9%	→	24.1%
要介護2	36.2%	→	31.7%	→	30.7%
要介護3	13.3%	→	15.5%	→	14.2%
要介護4	7.6%	→	9.6%	→	10.7%
要介護5	4.9%	→	5.1%	→	5.4%

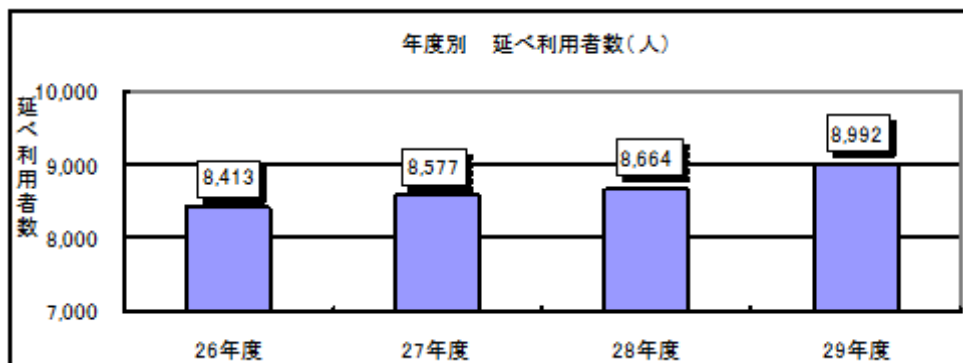
※ 過去2年の介護度比率と比較すると要支援1・2の割合が減少している。要介護1・2が全体の約半数を占めており、利用者が住み慣れた自宅でいつまでも生活していけるよう、介護予防に力を入れたい。同時に、特養併設である強みを活かして重度者も積極的に受け入れ、ショートステイとも連携して、長期にわたって利用してもらえるようにしたい。

(表4) 月間要介護度別利用状況

介護度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	22	22	13	23	23	27	27	24	30	28	25	31	295
要支援2	94	96	94	82	79	82	86	83	88	76	77	94	1,031
要介護1	148	169	193	180	183	193	192	208	182	164	154	201	2,167
要介護2	217	240	265	253	235	250	250	240	245	203	175	201	2,774
要介護3	88	106	90	84	106	121	119	117	100	112	118	115	1,276
要介護4	58	56	86	90	86	91	82	96	81	68	69	99	962
要介護5	26	42	42	49	38	37	36	41	35	37	48	52	483
合計	653	731	783	761	753	802	792	809	761	688	666	793	8,992

5. 年度別利用状況

(表5) 年度別利用者数



6. レクリエーション実施状況

- ① 花見 4/3・4にお抹茶、練りきりを提供。
- ② 初詣 平成30年1月4日～10日 (須成神社龍照院)
- ③ 敬老会 平成29年9月16日18日19日
 - ※ 全員にデイサービス独自に作成した賞状(記念状)を提供し、職員が踊りを披露した。昼食は「握り寿司・茶わん蒸し」「名古屋めし(エビフライ・味噌カツ)・きしめん」「炊き込みご飯・天ぷら」の特別食を提供した。
- ④ クリスマス会 平成29年12月12日～16日
 - ※ 昼食を特別食として、よせ鍋(12/12)、ごま豆乳鍋(12/13)、お好み焼き、焼きうどん又は焼きそば(12/14・15)、塩ちゃんこ鍋(12/16)を提供した。午後からは職員の出し物(歌や踊り)を行い、終了後にじゃんけんゲームで景品が全員に当たるよう配慮した。12月25・26日にはスイスロールやプリンなどを用いて手作りのクリスマスおやつを提供した。
- ⑤ 豆まき 平成30年2月2日3日(2/3の昼食は助六寿司)
- ⑥ しょうぶ湯 平成29年5月3日～5日
- ⑦ ゆず湯 ゆずが手に入った時(12月)
- ⑧ 文化祭の見学(蟹江町体育館) 平成29年11月4日
- ⑨ ひなまつり 平成30年3月3日 ちらし寿司、特別おやつ(お雛様まんじゅう)
- ⑩ その他 平成29年11月から正月飾りとして羽子板を全員作成

7. 作業療法

蟹江町文化祭出展作品【干支の戌】(作成期間 平成29年9月1日～10月31日)

材料には、板、毛糸、花紙、和紙、刺しゅう用ひも、リボン用ひもを使用。今回は来年の干支にちなみ、犬のデザインとした。板に下絵を書いて、輪郭部分に刺しゅう用ひもを貼り、輪郭の内側に毛糸を敷き詰めて貼った。毛糸により、犬の毛並みを表現した。

8. 誕生会実施状況

実施月日		おやつ内容	備考
4月	17, 18, 22日	ミニケーキ または 洋菓子	※全員に誕生日カードとプレゼントを贈呈
5月	15, 16, 18日		
6月	13, 14日		
7月	20, 21, 22日		
8月	14, 15, 18日		
9月	12, 13, 22日		
10月	24, 25, 26日		
11月	15, 17, 18日		
12月	22, 23日		
1月	15, 16, 20日		
2月	12, 15, 17, 21日		
3月	22, 23日		

9. 全体行事

行 事 名	実 施 日	備 考
大正琴・銭太鼓の訪問	平成 29 年 6 月 8 日	花の木（ボランティア）による演奏
舞踊の訪問	平成 29 年 6 月 17 日	七宝民踊の会による舞踊披露
高砂親方の来所	平成 29 年 6 月 26 日	高砂親方との交流会
高砂部屋の訪問	平成 29 年 7 月 8 日	高砂部屋若手力士との交流会
法人夏祭り	平成 29 年 8 月 20 日	カリヨンの郷 全体行事
ギター演奏の訪問	平成 29 年 9 月 12 日	ボランティアによるギター演奏
アニマルセラピー	平成 29 年 11 月 13 日	佐屋高校による動物とのふれあい
舞踊の訪問	平成 29 年 11 月 17 日	ぽかぽか（ボランティア）による舞踊披露
大正琴・銭太鼓の訪問	平成 29 年 11 月 21 日	花の木（ボランティア）による演奏
餅つき	平成 29 年 12 月 27 日	カリヨンの郷 本部行事
大正琴・銭太鼓の訪問	平成 30 年 2 月 23 日	花の木（ボランティア）による演奏

◎ 通年行事

① 蟹江町教会法話 計 6 回実施

平成 29 年 5 月 17 日（花まつり）、7 月 26 日、9 月 27 日、11 月 22 日、平成 30 年 1 月 24 日
3 月 28 日

② はばたき保育園児の訪問 計 11 回実施

平成 29 年 4 月 27 日、5 月 25 日、6 月 22 日、7 月 27 日、8 月 24 日、9 月 28 日、10 月 26 日
11 月 30 日、12 月 21 日、平成 30 年 2 月 22 日、3 月 22 日

③ 書 道 計 9 回実施

平成 29 年 5 月 31 日、7 月 26 日、9 月 20 日、10 月 18 日、11 月 15 日、12 月 6 日、
平成 30 年 1 月 17 日、2 月 21 日、3 月 21 日

④ 大正琴（琴城流） 計 6 回実施

平成 29 年 4 月 6 日、6 月 1 日、8 月 3 日、10 月 5 日、12 月 7 日、平成 30 年 2 月 3 日

⑤ 絵手紙 計 11 回実施

平成 29 年 4 月 11 日、5 月 29 日、6 月 23 日、7 月 25 日、9 月 25 日、10 月 14 日、
11 月 14 日、12 月 22 日、平成 30 年 1 月 22 日、2 月 14 日、3 月 24 日

⑥ 花餅作り

平成 29 年 12 月 8 日

⑦ 朗読ボランティア 計 12 回実施

平成 29 年 4 月 4 日、5 月 2 日、6 月 6 日、7 月 4 日、8 月 1 日、9 月 5 日、10 月 3 日、
11 月 7 日、12 月 5 日、平成 30 年 1 月 9 日、2 月 6 日、3 月 6 日

⑧ 音楽レク 計 6 回実施

平成 29 年 4 月 15 日、7 月 1 日、9 月 9 日、11 月 11 日、
平成 30 年 1 月 13 日、3 月 17 日

⑨ 手作りおやつ（利用者が職員と一緒におやつを作った）

平成 29 年 5 月 26 日、6 月 19 日、7 月 13 日、10 月 19 日、11 月 8 日、12 月 25 日、
平成 30 年 1 月 18 日、2 月 13 日、3 月 5 日、6 日、29 日、30 日

⑩ キッズガーデン園児の訪問

平成 29 年 9 月 13 日、10 月 12 日、11 月 21 日

⑫ のど自慢大会

平成 29 年 7 月 17 日 19 日 21 日

<その他>

デイサービスだけの夏祭りを 8/8～10 の 3 日間、開催した。

- ・デイホールをちょうちんで飾り、職員が法被（はっぴ）を着たり、民謡を BGM に使用するなどして夏祭りの雰囲気を出
- ・出店（射的・スーパーボールすくい・10 本引きゲーム）を用意し、各ゲームで景品をプレゼントした
- ・おやつは手作りのたこ焼き、飲み物にジュースを提供

Ⅶ 老人デイサービスセンター「カリヨンの郷新千秋」

平成 29 年度は前年度より 9 件多い 29 件の契約件数となり、利用中止者も少なかった。そのため、年度後半には全曜日にて 20 名を超える利用者数を確保するに至った。要支援者の増加に伴い、包括支援センターを中心に軽度者の利用者が増えたのが特徴的であった。平成 30 年度はスタッフ増加によって更に多くの利用者を受け入れられるよう、サービス内容や質を向上する必要性を感じている。また、軽度利用者のみならず重度者やターミナルケア対象者にも柔軟に対応できるようケアの質を高めるべく各スタッフへの研修にも積極的に参加を促していきたい。

1. 利用定員 30 名（介護保険事業 20 名、総合事業 10 名）

2. 職員数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

職種	正規職員	準職員	パート職員	計（名）
管理者※相談員と兼務	(1)	—	—	(1)
介護職	2	1	2	5
看護職	0	1	3	4
生活相談員	1	—	—	1
介助員	—	1	5	6
計	3	3	10	16

3. 年間利用状況

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	38	38	43	45	45	44	47	49	49	51	46	42	537
延べ利用者数	361	396	418	469	458	464	473	461	479	448	421	440	5,288
平均利用者数	14.4	14.7	16.1	18.0	17.0	17.8	18.2	17.7	18.4	18.7	17.5	16.3	17.1
営業日数(日)	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	24	27	310
利用率 (%)	72	73.5	80.5	90	85	89	91	88.5	92	93.5	87.5	81.5	85.3

4. 介護度別利用状況

(表 1) 月間要介護度別利用状況

介護度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	8	0	4	8	9	9	12	13	11	12	10	21	117
要支援 2	41	62	74	76	80	71	77	82	92	91	83	85	914
要介護 1	122	134	137	158	155	160	155	135	120	117	137	150	1,680
要介護 2	73	72	73	78	73	72	65	66	83	72	40	42	809
要介護 3	81	87	89	106	104	123	131	122	123	106	103	109	1,284
要介護 4	13	20	21	21	15	9	12	14	20	22	18	9	194
要介護 5	23	21	20	22	22	20	21	29	30	28	30	24	290
合計	361	396	418	469	458	464	473	461	479	448	421	440	5,288

5. レクリエーション等実施状況

実施月	内容	場所等
4月	お花見	木曾岬町、佐屋川創郷公園、戸田川緑地公園
9月	敬老会	寿賀の方へ記念状、記念品贈呈
12月	クリスマス会	職員による出し物・ゲーム大会
12月	餅つき	新千秋特養1階ホールでの餅つき
1月	初詣	鹿島神社他

定例行事

	内容	頻度
誕生会	プレゼント、バースデーソング	毎月2回程度
おやつレク	利用者と一緒におやつ作り	毎月2回程度
抹茶会	ボランティア水野様、服部様による抹茶	不定期
歌	ティンカーベル（ボランティア）による歌	不定期
オカリナ	オカリナ演奏（ボランティア）	不定期
法話の会	蟹江町仏教会による法話	2ヶ月に1回
書道・手話	蟹江ボランティア山口様による書道・手話	毎月1回
大正琴	琴城流いずみの会（ボランティア）による演奏	2ヶ月に1回
大正琴・銭太鼓	花の木（ボランティア）による演奏	年3回程度
はばたき保育園児訪問	歌やお遊戯	2ヶ月に1回

Ⅷ グループホームカリヨンの郷「新千秋」

平成29年度は、年度を通して退居者が2名、入居者が2名で入院も前年度より少なく、比較的安定していた。入居者の在所要年数と共に要介護度の重度化がみられ、それに伴い病院の受診・入院や看取りのケースも増えてきているが、「利用者にとって何が最善か」の法人理念をもとに、事業所の重度化対策をこれからも進めていきたい。

1. 入居者定員及び現在在籍者数（平成30年3月31日現在）

定員 18名
在籍者 18名

2. 職員数（平成30年3月31日現在）

職 種	正規職員	準職員	パート職員	計
管理者	2	—	—	2
計画作成担当者（ケアマネ）	2(管理者兼務)	—	—	2(管理者兼務)
介護職員	3	2	6	11
計	5	2	6	13

3. 入居者延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延人数 (人日)	540	558	540	551	550	540	549	531	502	545	504	557	6,467	539
月初めの 在籍実人数	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	—	17.9
平均人数	18	18	18	17.8	17.7	18	17.7	17.7	16.2	17.6	18	18	—	17.7
利用率(%)	100	100	100	98.7	98.6	100	98.4	98.3	90.0	97.7	100	99.8	—	98.4

※ 利用率は平成26年度（98.2%）、平成27年度（99%）、平成28年度（95.3%）となっている。

4. 入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
延人数(人)	—	—	—	8	8	—	10	3	10	—	—	—	39	3.25

5. 入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
人数(人)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	2	0.16

※ 退居から新規入居までの期間が平均して1か月程かかっており、申込人数も少ないため、今後の課題となっている。

6. 退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
人数(人)	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2	0.16

※ 退居理由の内訳は、事業所内での看取り介護による永眠が1名、要医療処置により長期入院となった方が1名となっている。

7. 利用者年齢構成（平成30年3月31日現在）

年 齢	性 別			在 籍 者			年 齢	性 別			在 籍 者		
	男	女	合計	男	女	合計		男	女	合計	男	女	合計
60歳未満	0	0	0	80歳～84歳	0	3	3						
60歳～64歳	0	0	0	85歳～89歳	1	4	5						
65歳～69歳	0	0	0	90歳～94歳	1	6	7						
70歳～74歳	0	1	1	95歳～99歳	0	0	0						
75歳～79歳	0	2	2	100歳以上	0	0	0						
備考	最高年齢	男性 93歳 女性 94歳	最低年齢	男性 87歳 女性 74歳	平均年齢	85.4歳	男性 90.0歳 女性 85.6歳						

8. 在所期間（平成30年3月31日現在）

	在 籍 者				在 籍 者		
	男性	女性	計(人)		男性	女性	計(人)
1ヶ月以上～12ヶ月未満	0	2	2	6年以上～7年未満	1	3	4
1年以上～2年未満	0	4	4	7年以上～8年未満	0	0	0
2年以上～3年未満	0	0	0	8年以上～9年未満	0	0	0
3年以上～4年未満	0	3	3	9年以上～10年未満	0	1	1
4年以上～5年未満	0	1	1	10年以上	0	2	2
5年以上～6年未満	1	0	1	計	2	16	18

※ 新入居で2名いたが、9年以上の在籍年数が高い利用者も3名健在。

9. 介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比(%)
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	185	2,189	33.8
要介護2	60	62	60	55	54	60	62	60	99	142	140	155	1,009	15.6
要介護3	90	93	90	93	93	90	93	88	62	62	56	62	972	15.0
要介護4	150	155	150	155	155	150	155	150	124	124	112	124	1,704	26.3
要介護5	60	62	60	62	62	60	53	53	31	31	28	31	593	9.2
合計	540	558	540	551	550	540	549	531	502	545	504	557	6,467	

※ 要介護4・5の構成比率は平成27年度(32.2%)、平成28年度(37.6%)、平成29年度(35.5%)となっている。

10. 行事・レクリエーション実施状況

実施月	内容	場所	参加人数
4月	お花見	戸田川緑地公園	18
	個別外出	愛西はすの実	2
	個別外出	三ツ又池公園、イオン茶屋	2
	お好み焼きボラ (みかく堂)	グループホーム内	18
	書道・手話ボラ	1F デイホール	6
	個別外出	イオン名古屋茶屋	2
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
	法話	1F デイホール	6
	喫茶外出	支留比亜弥富店	18
5月	誕生日会	支留比亜弥富店	18
	抹茶ボラ	1F デイホール	18
	個別外出	イオン名古屋茶屋	2
	個別外出	奈良東大寺	3
	キンブル劇場	1F デイホール	15
	一部外出	稲沢 性海寺	3
	ティンカーベル	1F デイホール	10
	はばたき保育園	1F デイホール	6
6月	誕生日会	支留比亜弥富店	18
	個別外出	あさくま・しまむら	2
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
	一部外出	トヨタ産業技術記念館	3
7月	誕生日会	支留比亜弥富店	18
	個別外出	瀬戸蔵ミュージアム	2
	個別外出	明治村	2
	一部外出	カリヨンの杜・イオン茶屋	3
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
	新千秋地区盆踊り	希望の丘広場グラウンド	6
	書道・手話ボラ	1F デイホール	7
	はばたき保育園	1F デイホール	10
花火大会 (新千秋特養合同)	新千秋駐車場	18	
8月	カリヨン夏祭り	カリヨンの郷 (須成本体施設)	14
	誕生日会	スイーツカフェ ハル	18
	流しそうめん	地域交流室	18
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
	書道・手話ボラ	1F デイホール	8
	個別外出	自宅周辺散策・でらうま寿司	2
	個別外出	自宅周辺散策・立松	2
9月	個別外出	イオン名古屋茶屋	2
	誕生日会	スイーツカフェ ハル	18
	敬老会	グループホーム内	18
	個別外出	アソビックス蟹江	2
10月	個別外出	リトルワールド	2
	喫茶外出	喫茶ランプ	18
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
	個別外出	常滑イオン・まるは食堂	2
	ハロウィン会	グループホーム内	18
	個別外出	イオン MOZO	2
	書道・手話ボラ	1F デイホール	5
	法話	1F デイホール	4
中部電力文化祭	中部電力	10	

11月	個別外出	弥富パティ・木曾崎	2
	個別外出	げんきの郷・聚楽園大仏	4
	誕生日会	支留比亜弥富店	18
	はばたき保育園	1F デイホール	8
	大正琴催し	1F デイホール	6
	バーベキュー（新千秋特養合同）	新千秋駐車場	17
	書道・手話ボラ	1F デイホール	3
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
	個別外出	自宅周辺散策・レモン	2
12月	個別外出	美和文化会館イルミネーション	2
	餅つき（新千秋合同）	地域交流室	17
	書道・手話ボラ	1F デイホール	5
	クリスマス会	グループホーム内	17
	一部外出	ヨシヅヤ津島本店	3
	法話	1F デイホール	6
	個別外出	自宅周辺散策	2
	抹茶ボランティア	グループホーム内	17
1月	初詣	大海用神社	14
	一部外出	津島神社・ヨシヅヤ津島本店	3
	誕生日会	支留比亜弥富店	18
	大正琴	1F デイホール	6
	唄の会	地域交流室	6
	一部外出	京都散策・東本願寺	4
2月	節分会豆まき	グループホーム内	18
	個別外出	名古屋港水族館	2
	一部外出	お千代保稲荷	3
	誕生日会	グループホーム内	18
	書道・手話ボラ	1F デイホール	7
	唄の会	地域交流室	10
	抹茶ボラ	グループホーム内	18
3月	お好み焼きボラ（みかく堂）	グループホーム内	18
	避難訓練	新千秋合同	10
	個別外出	多度グリーンファーム	2
	個別外出	長久手 I K E A	2
	ひな祭り会	グループホーム内	18
	大正琴	1F デイホール	7
	誕生日会	グループホーム内	18
	抹茶ボラ	グループホーム内	18

※ 毎週第二木曜日（14～15時）お抹茶ボランティアなどでボランティアが来所されている。

※ 毎月1回（不定期）傾聴ボランティアが来所されている。

IX キッズガーデンカリヨンの杜

当施設は社会福祉法人カリヨン福祉会の基本理念である「園児と家族にとって最善の方策を考える」ことに心がけてきた。また、地域への貢献として高齢者のみならず多世代を念頭におき地域住民が相互に交流することによって、子どもの心身の成長は当然ながら「保護者の子育て力向上への後押しや安心感の享受」などのサポートに努めてきた。平成29年4月2日（月）に初めての入園式を行い、平成30年3月24日（土）に初めての卒園式を終えるまで、手探りの中でようやく1年を終えることができた。事業開始当初は園児数22名でスタートし、年度末である3月には31名が在園、定員を超えるまでに至った。その他、保育士の処遇改善に関する様々な加算なども得ることができたため、事業活動収入面では概ね計画に沿った運営が行えたものの、経費面については事業開始初年度で見通せない部分も多く、この1年を通じて把握できることもあった。

児童福祉施設の主な目的である子どもの支援については、「カリヨンの郷新千秋事業所」の高齢者との交流を始め、蟹江中学校生徒の訪問や高砂部屋力士の訪問など活発に行なったことで、子どもたちの成長への大きな成果を得ることができた。平成 29 年 11 月までは月 1 回の交流事業が実施でき、ある程度の成果と目的を達成することができたと感じている。また、子どもたちの成長も目覚ましく、様々な人に対し、始めは緊張しつつも徐々に慣れ、触れ合いや言葉を交わせるようになり、交流に伴う高齢者の生き生きとした生活の手助け等付加的な効果も認められた。施設行事等の計画性や内容の吟味、再検討などが今後の課題と考えている。

保育理念に基づく保育目標の達成度については、「理念と保育士の考えの格差」「技量の未熟さ」「研修機会の不足」「チームワークの欠如」などの問題点に分かり、今後も様々な啓発活動と環境整備を要する課題などが見えつつあるところである。

1. 運営の概要

- (1) 所在地 愛知県海部郡蟹江町宝三丁目 3 番地
- (2) 定員 30 名（0 歳児 6 名・1 歳児 12 名・2 歳児 12 名）一時保育 5 名
- (3) 在園児数 31 名（0 歳児 9 名・1 歳児 13 名・2 歳児 9 名）※平成 30 年 3 月 31 日現在
- (4) 一時保育 平成 29 年度延べ利用者数 21 名
- (5) 職員数 所長 1 名 主任保育士 1 名 嘱託医 2 名（杉浦クリニック、竹内歯科）
保育士 9 名 非常勤保育士 3 名 管理栄養士 1 名 調理員 1 名

2. 保育理念実践に対する自己評価

保育理念 「子ども一人ひとりを大切に、人や自然とのかかわりを豊かにすることで命の豊かさを実感できる保育を目指す」

上記の保育理念を達成するため、以下のとおり「人的、物的環境作り」を実践してきた。

(1) 一人ひとりを大切にする保育

・保育士配置人数

配置人数を厚くすることができたため、保育にゆとりが生まれ、保育士の休憩時間の確保やグループミーティングの時間、自己研鑽時間（施設内研修等）の確保を達成した。

0 歳児配置人数	園児数対保育士数（法定 3 対 1）	当園配置	2 対 1
1 歳児配置人数	〃（法定 6 対 1）	当園配置	4 対 1
2 歳児配置人数	〃（法定 6 対 1）	当園配置	4 対 1

・非常勤保育士（早朝 1 名、9 時-15 時 2 名）計 3 名の配置

経験豊富な非常勤保育士の配置ができたため、常勤保育士の急な休暇取得や休憩時間の確保ができ、保育事故防止と保育の質の向上に向けての成果を得ることができた。

(2) 人や自然との関わりを豊かにする保育

・園に関わる様々な人的資源の活用

様々な年齢や職種の人々との交流や直接触れ合うことで、理屈ではなくお互いが直接温かい笑顔やぬくもりを味わうことを通して、他人からの愛情を受けることの喜びやそれらに慣れ親しむことを経験することができた。

「カリヨンの郷」高齢者との交流活動（今年度 10 回実施）

事業所（本部及び新千秋事業所）へ訪問

高齢者の本園訪問（芋の苗植え、園児との遊び、歌を唄う、握手する）など

蟹江中学生徒の育児体験（1 回 お兄さんお姉さんとの触れ合い）

高砂部屋力士の本園訪問（1 回 大柄な力士の方たちとの触れ合い活動）

・園庭内の自然環境構築

以下の環境作りを実施し、事故防止、活動しやすい環境及び自然環境への接点を構築できた。小さくても本物の自然に触れ、五感を働かせることができた。季節を感じるため、花や実のなる樹木の定植とプランターや畑を作ることによる野菜づくりなどの取組みの結果として自然に集まってきた「蝶、カエル、ダンゴムシ」などの生き物への興味と関心が芽生えた。また、園庭などに自由に増えてきた雑草（シロツメクサ、カラスノエンドウ）などへの誘導につながった。

以上の環境構成から、身近にいる多様な人たちや自然との接点を積極的に設けることができたのではないかと自己評価している。「命の豊かさを実感できる保育」とは、命あるものとの触れ合いの場を作ることを出発点と捉え、多種多様な人、自然との小さな出会い「点」を数多く

設ける保育活動を実践し、いずれは多くの「点」を通じ、相互が関わりより豊かな感性を育てるように配慮していく保育であると考えている。少しずつ目標に近づけるように努力していきたい。

3. 保育目標の実践と反省

(1) 保育の目標

① 個々の発達段階を十分に過ぎし心と身体を土台を育てる

「発達段階を十分に過ぎす」とは、急いで次の段階に向けて保育内容を設定していくのではなく、例えば「ハイハイ」の質（速さ、力強さ、身体使い等）をどれだけ高められるかを狙っている。この目標において保育士個々の能力や経験に委ねるところが大きく、0～2歳の発達過程を見通す目標に欠けていたと反省する。発達における正しい認識と保育士間のコミュニケーションを充実し、連携を意識した個々の発達を意識することに配慮したい。

② 光、風、水、土、生き物、植物などに十分関わり、自然環境の中で豊かな心と身体を育む

個々の保育士がこの目標に配慮できたとは言えないが、目標を意識することはできていた。しかし、0～2歳という低年齢の子どもに対し、どのような保育方法（対象物の扱い、言葉かけや共感共有方法、感情表出の扱い方）が適切であるかに、考えが及ばない保育士の様子もみられた。自然を相手にした、より具体的な方法を学び（例：地面に線を描く等多様な使い方、砂のさらさらとした感触や天候による湿り気など）保育士と子どもとの十分な関りとは何か？など、自然環境の中で子どもの何を育てるべきかの実践について改めて園内研修を通じて伝えていく必要性を感じた。

③ 身の回りにある様々な素材に触れて、豊かな感性を育む

新聞、牛乳パック、画用紙、絵の具やその他日用品などを使用し、あそびの中で様々な活動を実践できたのではないかと感じているが、素材の持つ個々の性質を十分に活用できたかどうかは、全ての保育士において自ら検証する力がまだまだ不足していると思う。素材の持つ多様な性質に保育士自身が気づき、その面白さに触れてこそ、子どもの気づきや感性を豊かに導き出す力となることを伝えていきたい。

④ まとめ

保育園や家庭において、子どもが心地よく育っていけるよう、保護者の主だった状況や子育ての考え方を十分に受け止め、親子の穏やかな関係を保てるよう援助することが肝要である。保育園において保護者とのルールを堅持していく事も大変重要であるが、様々な家庭環境や育児をしながら仕事に励む多忙な両親等に対し、様々な気持ちを受け止める姿勢は何よりも優先されなければならない。

「子どもと保護者」とも、心の安定を保つことが良好な育児環境を生み出すことができる。そのためには、毎日の些細な子どもと保護者との接点を重視し、言葉のやり取りや細かな配慮を地道に続けていくことが大切である。送迎時の玄関でのあいさつを含め、園長としてそれらの対応は重要な責務と考え実践してきた。子どもの健康視診はもとより保護者の気持ちを代弁しながら、育児に関わる家族と子どもとの関係が良好となるような配慮が必要である。

また、担任を中心に他の職員すべてが、子どもの成長を喜び時にはうまくいかない育児の大変さに共感的態度を示し、専門家として適切な助言ができるようになることが、保育士としての成長でもある。園長、主任、主担任、担任、非常勤保育士それぞれが個々の親子関係を二重三重に情報共有し、それぞれの立場の中で責任を持った言動、行動を実行できるように努力したが、配慮や情報共有不足の面もあった。

平成30年度も引き続き細かな配慮に努め「ていねいな説明責任」に心がけ、保護者の不安や不満を早期につかみ良好な親子関係の下、育児、保育が行われるよう努力していきたい。

(2) 年齢別保育目標について

① 0歳児・生理的欲求を満たし生活リズムを整える

入園当初は家庭と園との生活環境、リズムの差を埋めるために家庭における育児方法の把握に努め、抱っこ、おんぶ等スキンシップを通し、心や身体の安定を第一に保育を実践した。

4月は4名スタートであったため余裕をもっての対処が可能であった。また、保護者にも慣らし保育を行う中で、園での様子を詳細に伝えることで不安の解消に努めた。時間を重ねるごとに日々のリズムも安定し初期の目的を果たすことができた。

「ハイハイ、つかまり立ち、歩行、発語」など、心身ともに著しい発達をとげる0歳児は、特に安全、健康に対しても注意を要するため、ベテラン保育士を配置し新人保育士2名を含む担任は程よく連携を保つことができ、良好な保育実践ができた。発達に関する玩具や環境設定も積極的に行なえたが、方法論についてはさらなる学びが必要と思われるが、努力の成果は十分見受けられる。

② 1歳児・五感を活発に働かせ興味と関心を持続する

月齢差もあり個々の発達差異が大きく、入園当初は戸惑うことが多くあった。集団生活が初めてである12名が、慣れない園生活に馴染むまでは時間を要した。保育課程に掲げた「発達過程とクラスの相関性」は、それぞれの発達段階を促進するために、より近い月齢の子どもと同一空間の環境を共有することで、子どもたち相互が影響し合いながら育っていける環境の構成に配慮し、発達が比較的近い子ども同士でテーブルを囲み食事を摂るなど生活面での工夫を行った。

一方「遊びの環境」については、子どもの発達をとらえてはいたものの、発達が近い子ども同士のかかわりを意識した保育までは到達できなかった。保育士のさらなる技量の習得、保育士同士の保育方法の共有や、施設内研修等を通じた教育的配慮（健康、人間関係、環境、言葉、表現）についての研鑽とチームワークの必要性を感じた。

③ 2歳児 行動範囲を広げ探索活動を促す

園庭に出やすいように2歳児は1階の保育室を配置し、玄関ホールや職員室等にも近く開放的な環境を設定することで、様々な人や、自然への接点を経験できるよう配慮した。

入園当初、園での生活に馴染めず寂しくて泣いてしまうことが多かったが、「遊びや仲間との関わりに没頭する」ことで徐々に生活を楽しむ姿が増していった。また、環境の変化や初めての事象への戸惑いやしり込みする態度も見受けられたが、保育士の励ましを受け挑戦する力強さへと変化していった。

4. 保育の内容の実践と反省

養護（生命の維持・情緒の安定）、教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）、食育（食を営む力の基礎）について

- ・生命の保持……開設年度でもあり入園者全員が新入園児であるため、生活リズムの形成や保健的な対応に配慮しつつ、個々の生理的な欲求を十分に満たし、それぞれの健康に細かく気を配った。体調がすぐれない場合は、早めに保護者に連絡し、園での詳細を伝え本人の安静に努めた。
- ・情緒の安定……それぞれの年齢発達における情緒の安定を的確に把握し対処に努めた。
- ・健康、人間関係、環境、言葉、表現の各教育については、各年齢、個々の発達段階に応じ適切に配慮した。

5. その他

・健康支援の実践と反省

……内科健診により健康発育発達状態、心身の状態や家庭生活や養育状況の把握に努め、年間の保健指導計画に基づき、内科、歯科の健診を実施。発達に疑わしい状況や異常、保護者の不安が認められた場合は速やかに保護者の同意を文書にて確認し、関係専門機関（保健センター、病院、役場）に協力を依頼した。外国籍の保護者とのコミュニケーションに苦心しさらなる努力の必要性を感じた。

・環境や衛生管理の実践と反省

……施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理並びに自主点検に努め園児、職員
の衛生環境を保持することに留意した。消毒薬剤（塩素系か 酸系）の選定に手間
取り、決定が遅延した。

・安全対策と事故防止の実践と反省

……施設内外の設備、用具等の安全を日常的に確認するとともに危険や不具合が見つ
かった場合は速やかに改善を行った。園児の怪我の報告義務について未報告、報告遅

延が発生したため早急に改善指示した。

- ・職員研修 ……園外での職員研修を積極的に受講した。研修参加を職員が共有するための園内研修をほとんど開催することができなかった。大きな反省である。

※外部研修参加概要

栄養士・・・蟹江町給食試食会

稲沢、愛西市合同ファミリーサポート主催研修（アレルギー）

保育士（主任含む）

処遇改善講習（乳児保育、食物アレルギー、安全）

稲沢、愛西市合同ファミリーサポート研修（救命、遊び他）

園長・・・日本保育協会施設長講習、全国社会福祉協議会施設長講習

稲沢、愛西市合同ファミリーサポート研修（救命）

公益事業

I カリヨンの郷居宅介護支援事業所

介護認定判定基準の厳格化は平成 29 年度も継続され、認知症状の有無が要支援もしくは要介護判定となる基準の一つとなっている。居宅支援事業所として認定審査会に対しより分かりやすく介護の手間、介護者の負担を明確に伝えられるよう調査票作成など慎重に行っている。

介護サービスだけでなく、民生委員や民間サービスなど地域資源の利用が必要となる事例も増えており広く情報収集する力も必要となっている。

居宅介護支援事業所ケアマネージャーの基本として、本人と共に家族の感情面の考慮が不可欠であり誤解につながらない「言葉の掛け方」「タイミング」「伝え方」を心掛けてきた。今後も専門用語は使わず「相手に伝わる居宅介護支援」の姿勢で取り組んでいく。

1. 職員数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

職 種	正規職員
管理者※介護支援専門員と兼務	1
介護支援専門員	2
計	3

※管理者は主任ケアマネージャー

2. 援助内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請手続き代行	6	2	2	5	2	5	1	3	12	7	3	5	53
訪問介護の利用	6	2	7	2	9	6	8	6	9	9	15	7	86
訪問入浴の利用	0	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	1	7
通所介護の利用	21	35	16	20	22	12	16	23	21	27	17	10	240
通所リハの利用	6	15	15	18	11	14	15	12	11	5	16	14	152
訪問リハの利用	1	1	3	2	2	9	6	1	2	1	4	6	38
短期入所の利用	15	22	17	16	23	16	23	25	26	12	23	16	234
福祉用具の利用	7	11	14	15	13	5	11	6	8	9	5	6	110
住宅改修	3	0	1	3	0	0	2	0	0	0	0	0	9
その他のサービス	4	10	4	3	1	0	3	11	4	3	4	5	52
認定調査	9	7	6	10	7	4	10	10	10	5	4	7	89
施設入所の相談	50	3	5	2	0	1	3	0	2	2	4	0	72
居宅介護支援	148	209	207	189	185	183	189	178	184	178	178	131	2,159
その他	4	13	9	4	2	17	12	9	12	3	12	21	118
合 計	280	330	307	289	280	272	299	284	303	261	285	229	3,419

3. 利用者内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	63	85	84	85	69	62	77	76	88	73	68	63	893
家族	125	127	121	120	114	114	127	100	106	93	109	81	1,337
他事業所	81	102	87	72	80	71	81	91	89	76	93	74	997
医療機関	6	9	8	7	7	12	6	10	14	11	10	7	107
役場	0	1	2	0	1	3	1	3	1	0	1	2	15
民生委員	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	4
地域包括支援センター	5	6	4	5	4	5	5	3	5	6	4	2	54
その他	0	0	1	0	5	2	2	1	0	1	0	0	12
合 計	280	330	307	289	280	272	299	284	303	261	285	229	3,419

4. 援助方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来 所	12	17	7	13	17	12	13	12	20	9	14	10	156
電 話	105	134	132	109	100	104	117	99	108	92	109	78	1,287
訪 問	163	179	168	167	163	156	169	173	175	160	162	141	1,976
合 計	280	330	307	289	280	272	299	284	303	261	285	229	3,419

5. 契約者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

要介護者 63 名

要支援者 15 名（うち地域包括支援センターからの委託 15 名）

II カリヨンの郷 介護サポートセンター「新千秋」

平成 27 年 10 月より新千秋事業所内に新たな居宅介護支援事業所を開設して約 2 年半が経過した。月日とともに居宅介護支援事業所としての認知度は浸透してきており、それに伴って居宅利用契約件数も徐々に増加してきている。

また、新千秋事業所に設置されているデイサービス、グループホーム、特別養護老人ホーム、ショートステイの総合窓口としての役割を果たせるよう努めることで、居宅介護支援事業所という単体事業所の概念にとらわれることなく、カリヨン福祉会法人全体の向上と地域福祉貢献を基本理念として事業展開を行ってきた。

1. 職員数（平成 30 年 3 月 31 日現在）※管理者は主任ケアマネージャー

職 種	正規職員	準職員	パート	計
管理者※介護支援専門員と兼務	1	—	—	1
介護支援専門員	0	1	1	2
計	1	1	1	3

2. 要介護認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査（件数）	5	9	17	10	9	5	13	9	18	10	3	10	118

3. 初期相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初期相談（件数）	3	1	0	20	5	5	2	2	3	5	7	2	55

4. 新規契約/合計契約件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約（件数）	3	4	8	20	5	4	3	2	0	2	9	3	63
合計契約件数	49	52	61	83	84	90	89	87	87	88	89	91	950

5. 月間要介護度別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	14	14	18	18	19	24	22	20	19	19	18	20	225
要介護	33	30	39	41	56	55	59	57	57	60	60	65	612
合計	47	44	57	59	75	79	81	77	76	79	78	85	837

6. 契約解除件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約解除（件数）	1	0	1	0	2	2	3	0	3	4	2	1	19
（内訳）施設等入所	0	0	0	0	1	1	2	0	2	2	1	1	10
死亡	1	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	7
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

7. 入院（入院中も含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院（件数）	3	2	2	1	4	4	5	7	9	4	5	6	52

8. 研修参加

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修参加（件数）	3	2	3	2	6	0	2	4	0	0	3	2	27

Ⅲ 蟹江町東地域包括支援センター

蟹江町の地域包括支援センター事業が、社会福祉法人カリヨン福祉会が受託し蟹江川東地域を担当する蟹江町東地域包括支援センターと、医療法人宝会が受託し蟹江川西地域を担当する蟹江町西地域包括支援センターの2ヶ所に分かれてから7年近く経過した。

総合相談及び指定介護予防支援は東西の担当地域ごとに実施し、介護保険事業者連絡調整会議などの事業は蟹江町全体で行った。介護保険事業者連絡調整会議では各事業所の情報共有（ICT）化を進めるため、電子連絡帳「つながろまい蟹江」の導入説明が行われた。

1. 職員数（平成30年3月31日現在）

職 種	正規職員	パート	計
主任ケアマネジャー	1	0	1
保健師・看護師	1	1	2
社会福祉士	1	0	1
計	3	1	4

2. 業務内容

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務・権利擁護業務

- ・地域に住む高齢者に関する様々な相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、必要があれば継続的にフォローを行う。

表1 平成29年度相談内容

内容／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計（件）
総合相談	27	21	50	33	36	25	20	23	29	23	38	52	377
初期集中支援	2	1	2	3	1	0	1	1	0	1	2	3	17
権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
ケアマネ支援	7	4	14	6	9	8	12	6	1	10	10	10	97
指定介護予防	54	77	87	68	72	31	53	37	42	45	46	65	677
計	90	103	153	110	118	64	86	67	72	79	96	131	1,169

② 権利擁護業務

- ・高齢者の権利擁護のため、関係機関と連携を図り対応を行った。

表2 権利擁護業務

内容	件数
虐待	0件
成年後見制度	3件
その他（日常生活自立支援事業含む）	0件

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・介護保険事業者連絡調整会議

町内の介護保険サービス事業者に対して介護保険事業者連絡調整会議を行い、資質向上と情報共有の機会とした。

- ・介護保険事業者連絡調整会議開催状況
 - 開催回数 8回
 - 内 容
 - ・ICT（電子連絡帳「つながるまい蟹江」）説明会
 - ・ICT説明会（応用編）
 - ・町民祭りについて
 - ・リハビリの専門性について
 - 延参加人数 183名

④ 地域ケア会議

- ・個人に対する支援の充実と地域課題の抽出を目標に、個別ケース検討会や、地区診断を基に地域課題解決に向けた検討会を行った。
- 個別検討会 1回 地域課題検討会 4回

⑤ 介護予防ケアマネジメント業務

- ・要支援者追跡調査
 - 要支援1・2の新規の認定者及び要介護から要支援への介護度変更者の追跡調査を行い、希望者に介護予防サービスを提供。また、要介護認定審査結果の非該当になった方の追跡調査を実施した。
- ・予防給付
 - 要支援1・2の介護保険サービス利用者のケアプラン作成サービス担当者会議を開催し、モニタリング・評価・給付管理を行った。また、心身の状態の変化やサービス内容に変更がある場合は、随時サービス担当者会議を行った。

表3 計画作成状況

月別人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
作成者数	137	144	152	144	144	144	150	154	155	158	152	160	1,794
委託者数 (再掲)	44	43	41	44	48	56	53	56	53	53	56	57	604

(2) 認知症施策推進事業

① 認知症初期集中支援

認知症が疑われる人や、認知症の人及びその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）」を東西地域包括支援センター内に設置して、アセスメント・家族支援・医療機関への繋ぎなど、初期対応を行った。

チーム員会議 開催回数 9回

② 認知症地域支援推進員

地域住民の認知症理解を進めるため、認知症サポーター講師として活動した。

町と協働し、「認知症ケアパス（状況に応じた適切な医療や介護サービス提供の流れ）」を作成して普及活動に努めた。

③ 認知症サポーター養成講座

地域に住民を対象に認知症等についての理解を深めてもらうため講演会を実施した。

表4 開催状況

受講団体・グループ名	場 所	参加者数(人)
傾聴ボランティアふくみみ	蟹江中央公民館 分館	14
サントピア蟹江	サントピア蟹江	17
地域支え合いサポーター養成講座参加者	蟹江中央公民館	14
蟹江小学校 4年生	蟹江小学校	134
須成老人クラブ連合会	藤丸公民館	38
かにえワークス	かにえワークス	37

(3) 任意事業

- ① 介護者の集い（毎月第一水曜日）と自主グループ育成支援（毎月第一土曜）
認知症などで介護が必要な方の家族のため、日頃の悩みや不安を相談できる場として開催した。
- ② 認知症カフェ支援
認知症を患っている人、その家族、地域住民等が集い、健康、栄養相談と健康体操等を行う場として開催。
- ③ 出張講座
地域の住民を対象に介護予防や高齢者福祉についての講座をを実施。

表5 開催状況

講座内容	受講団体・グループ名	参加者数(人)
介護が必要になったとき	海門長寿会	40
認知症予防について	ふれあいサロン藤丸参加者	30
認知症予防の講話と運動	駅前長寿会	40
認知症について	ふれあいサロン藤丸	37
いざという時の介護の話	ふれあいサロン藤丸	38
いざという時の介護の話	善敬寺	35

- ④ 民生委員との懇談会
地域の高齢者の情報交換、問題解決に向けて連携を図るため懇談会を実施した。
4回 延べ25名参加

(4) 介護予防支援事業

要支援1・2（事業対象者も含む）の方が介護保険サービスを利用する際の介護予防ケアマネジメント（ケアプラン作成・サービス担当者会議の開催・モニタリング・評価・給付管理）を実施した。

非該当	3名	
要支援1	574名	
要支援2	644名	合計 1,221名

